



# 熊谷市立大生小学校

## グランドデザイン 2017



### ■学校教育目標およびその具現化に向けた取組

#### 学校経営方針

- 日々の授業に全力を傾け、子供たち一人一人の学力を伸ばす。
- 子供たち、保護者、地域との信頼関係を基盤にした教育活動を展開する。

#### 目指す学校像

- 子供たちも職員も、笑顔と意欲と思いやりにあふれる、明るく元気な学校

#### 学校教育目標

知・徳・体のバランスのとれた「学力」を身に付け、  
21世紀を豊かに生きる児童の育成

#### 目指す児童像



#### 進んで学び、よく考える子

- 自ら学ぼうとする姿勢をもち、思考力・判断力・表現力を伸ばす児童



#### 思いやりがあり、友達と仲良くできる子

- 思いやりの心をもち、友達をたくさんつくり、大切にできる児童



#### 最後までやり抜く、たくましい子

- 心身ともに健康で、困難なことにもねばり強く、たくましく立ち向かえる児童

#### 重点目標と具体的な取組

#### 【進んで学びよく考える子のために】

- ◎大生小スタンダードの徹底 (学習・生活規律の徹底)
- ◎思考力・表現力の育成 (B問題に対応できる力)
- スタンダードの内容が身に付いている児童の育成 (9割以上)
- 補充学習による基礎学力の向上 (補充学習回数20回以上)
- 自分の思いをわかりやすく表現できる児童の育成 (8割以上)

#### 【思いやりがあり、友達と仲良くできる子のために】

- ◎道徳的実践力の見える化 (思いを行動に表す)
- ◎「4つの実践と3減運動」の一層の推進 (生きる力の土台)
- 「見える化」を意識した工夫ある道徳の授業 (全学級)
- 目を見て自分から元気にあいさつできる児童の育成 (9割以上)
- 朝ごはんをしっかりと食べる習慣の定着 (全児童)

#### 【最後までやり抜くたくましい子のために】

- ◎走力、投力の育成 (基礎体力の向上)
- ◎保健・安全指導の一層の充実 (自分の身を守る力)
- 新体力テストで県平均を超える種目数の向上 (9割以上)
- マラソンカード達成率の向上 (全児童に賞状)
- 交通事故、不審者事故防止に向けた判断力の育成 (年間事故ゼロ)

学校研究課題 自分の考えを豊かに表現できる麻っ子の育成 ～思考力・表現力を育成する国語科の学習指導～

生きる力の土台 熊谷の子どもたちはこれができます！ 「4つの実践」と「3減運動」の推進

#### 生徒指導の基本方針

◎是々非々で「すずめの学校」と「めだかの学校」とのバランスを大切にする。

- 1 誰にもわかる授業をし、確かな学力をつけます。(「わかった」「できた」「ほめられた」の体験)
- 2 徹底してかまっておげます。(児童全員が「自分は先生にかわいがられている」と思うように)
- 3 いざという時、全員で動きます。(「大生小小学校」という組織への信頼を高める)
- 4 一秒でも早くプロの手へ渡します。(関係機関と連携する)



#### 【保護者・地域との信頼関係の構築のために】

1. 積極的に情報発信をします。
  - ・ホームページの更新回数 200回以上
  - ・地域行事への積極的な参加 等
2. 中学校との連携に努めます。
  - ・6年生の部活体験
  - ・合同防災訓練 等
3. 校舎内外の環境整備に努めます。
  - ・グリーンカーテン
  - ・校庭の芝生化

熊谷の子どもたちは、これができます！

アクセル プレーキ

4つの実践

- ◎朝ごはんをしっかり食べる。
- ◎呼吸したら「はい」と元気よく返答をする。
- ◎「ありがとう」「ごめんなさい」と言う。
- ◎友だちをたくさんつくる。

生きる力

学力・体力やる感を磨きましょう

3減運動

- 減 テレビの視聴を減らします。
- 減 ゲームの時間を減らします。
- 減 スマートフォン・携帯電話やパソコンに繋がる時間を減らします。

家族で約束を！

家族との会話の時間を増やします。

読書の時間を増やします。

予習・復習の時間を増やします。

熊谷市 保護者のスマートフォン「4つの実践」

子供は、大人の言ったようにはやらない大人がやっとうしろです。

これだけお約束しよう！

- 1 子供のスマホにはフィルタリング設定をする。
- 2 午後9時以降は使用しない。
- 3 食事や歩行中等の「ながら」操作はしない。
- 4 他人を傷つける言葉や個人情報を書き込まない。

大人が手本となって

スマートフォンは小さなパソコンです。インターネットの危険性に十分注意し、ルールとマナーを守って安全に使いましょう。

熊谷市PTA連合会・大生小小学校PTA